

## 万緑叢中紅一点

「万緑叢中紅一点(ばんりよくそうちゅうこういつてん)」は、緑の草むらにたった一つ咲く紅い花を指します。多くは、男性ばかりの中で女性が一人際だっただけに見える場合に使われますが、たくさんの平凡なものの中に、すぐれた存在が目立つことのたとえです。これは中国宋の政治家王安石が作った「石榴(せきりゅう)」の詩「万緑叢中紅一点、人を動かすに春色多きをもちいず」が出典とされています。人を感動させる春の景色は多くのものを必要としない。すべてが緑の草むらの中に、ただ一つ赤い花があればよいという意味です。「万緑」という漢語的表現も「青葉若葉」よりも力強い響きを感じます。今は平凡でも、毎日努力を積み重ねキラリと光る存在になりたいですね。

金商図書館もたくさんの良書を用意しています。  
あなたにとって紅一点の1冊を見つけてみませんか。

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

### 新着雑誌

#### 『金澤』

金

●知らないことがいっぱいある。生活を豊かにする雑誌の力。金沢を楽しむコンシェルジュマガジン。

### 図書委員がすすめる 読んで得するテッパン本

#### 『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』似鳥航一著

どこか懐かしい和菓子屋『甘味処栗丸堂』。店主は最近継いだばかりの若者でどこか危なっかしいが、腕は確か。思いもよらぬ珍客も訪れるこの店では、いつも何かが起こる。今日の騒動は？和菓子をめぐって謎解きします。(31H)

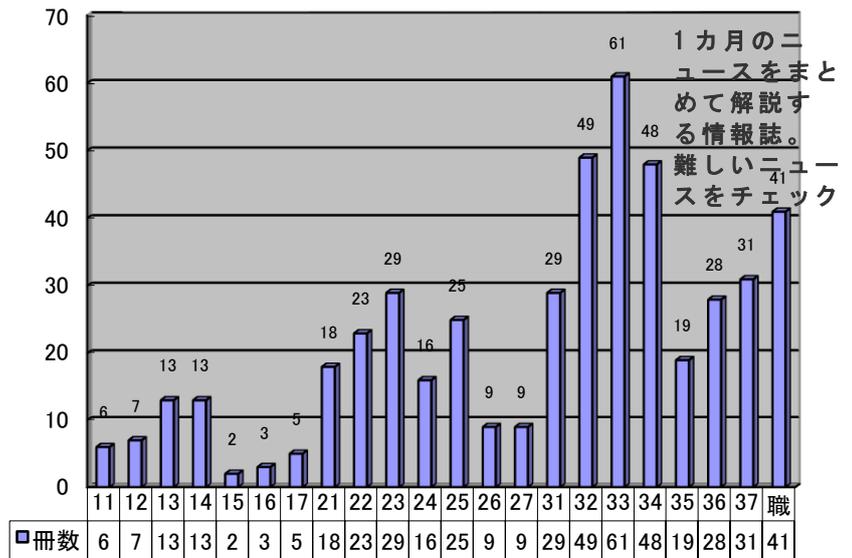
#### 『陽だまりの彼女』越谷オサム著

幼馴染みと十年ぶりに再会した僕。芽えないイジメられっ子だった彼女は、モテ系の出来る女へと大変身を遂げていた。でも彼女は秘密が。結末が意外です。(31H)

#### 『君とあえたから…』喜多川泰著

将来に対する漠とした不安を抱えながらも、自分のやるべきこともやりたいことも見つけられずに何もせず、無気力に過ごしていた平凡な高校生の僕のもとに、ある夏の日女の子がやってきた。そして、彼女からその後の僕の人生を変える教えを聞くことになる。この物語には様々な教えがあります読み終わった後、自分自身も変わります。(32H)

### 図書館利用統計【4月7日~4月30日】



4月の図書貸し出し総数は484冊でした。開館日数は14日で、1日平均にすると約34.6冊の貸し出しです。学年別では3年生が265冊、2年生が129冊で、1年生は49冊でした。入館者の総数は1,996人で、1日平均約143人の利用でした。図書館での授業は22時間ありました。5月の展示は総体・総文応援図書です。図書館をのぞきに来て下さい。

### ありがとう

図書の寄贈がありました！

\*株河村様より

『北国新聞縮刷版1・2月号』

『日本の名僧100人この一字』

社長をはじめ社員の皆様の約半数が金商の卒業生という会社からの寄贈です。大切に活用しましょう

### 図書館の掟

- 一、図書館は飲食厳禁！
- 一、本を借りるときは身分証明書忘れずに！
- 一、周りの人に迷惑をかけない！